

キャラクター名 薬師院 ちより (ヤクシン チヨリ)	プレイヤー名
-------------------------------	--------

シンドローム	ソラリス パロール	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	純粋培養	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	4	0	3			7	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉	(5)	
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
夢中の福音(Presentation von Brugmansia)	交渉	7r+5		20		
愛敬の福音(Austausch von Brugmansia)	交渉	7r+5		20		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
精鋭	P	N			
赤川仁	P 純愛	N 偏愛			
テレーズ・ブルム	P 慈愛	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	14	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ソラリス	2							
効果:								
ポイズンフォッグ	2	2	メジャー	至近	範囲(選択)	シンドローム	-	
効果:	射程を至近、対象を範囲(選択)に変更/1シナリオLV回							
絶対の恐怖	5	3	メジャー	視界	-	交渉	-	
効果:	攻撃力+LVの射撃攻撃/装甲値無視							
神の御言葉	3	4	メジャー	-	-	交渉	リミット	
効果:	《絶対の恐怖》と合わせて使用/攻撃力+[LV×5]/1シナリオ3回							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定を行う前に使用。その判定は自動失敗となる。/1シナリオ1回							
偏差把握	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果:	自身の周りにあるすべてのものがどこにあってどう動くか認識できる。							
竹馬の友	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象はあなたを信頼できる友と思ひこんでしまう。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNの施設「ホーム」の出身。本人はどうやって「ホーム」に辿り着いたのかわからない。「ホーム」とは、オーヴァードの訓練施設であり、過酷な訓練でジャーナリズム化やエフェクトの暴走によって命を落とすチルドレンも多い(上級参照)が、彼女のいた「ホーム」は最も過酷な場所であった。閉鎖的空間でありながら家族同然に育てられながらも、兵士同然に鍛え上げられ、その際に暴走したチルドレンはチルドレンが倒さなければならなかった。昨日隣で笑っていた同胞が明日には自分に牙を向くかもしれない。そんな環境に大半のチルドレンは心を壊し、残りのチルドレンは心を閉ざしていった。しかし、ちよりは逆に心を開いていった様に見えた。心を壊した同胞の手を取り、心を閉ざした同胞を抱き寄せ、力に溺れた同胞を誰よりも殺した。彼女にとって「ホーム」にいる者は全て「かぞく」だった。「かぞく」だから庇護対象であり、「かぞく」だから慈愛対象であり、「かぞく」だから殺戮対象であった。だから彼女は「ホーム」にいた生きている全ての「かぞく」を殺した。彼女が12歳の時のことである。

「ホーム」壊滅の事件はすぐにUGN内に情報として迅速に出回った。UGN日本支部はすぐに彼女を捜索する部隊を形成したが、彼女はすぐに見つかった。UGN・N市支部にいたのだ。どうやらその支部長・赤川仁とは「ホーム」時代からの顔見知り(彼女の一方的な)であり、彼のことを父親として認識していた。彼女を赤川仁の元から離そうとすれば、彼女は極度の警戒心を見せたためUGNはちよりのことを赤川仁に一任している。当のちよりとしては「パパと一緒に暮らせるからいい!この「かぞく」はみんな優しいから私は好き!」とご機嫌な様子。巻き込まれた赤川仁の胃は今日も痛い。

【以下「ホーム」に残っていた電子記録の一部】
 名前:薬師院ちより
 プリード:ピュアブリード 【修正】クロスブリード(■■■■発覚)
 シンドローム:ソラリス 【修正】ソラリス/パロール(■■■■発覚)
 <■月記録>
 戦闘訓練。本日はパロールシンドロームの適正を調べることにした。何度か近接訓練を繰り返すうち、肉弾戦に適正は見られず、防衛に特化している様にも見られなかった。……本当にパロールシンドロームを持っているのか怪しいところではあったが、本日の戦闘訓練のパディである■■■■(【修正】ジャーナリズム化により死亡したため消去)が危機に陥った際、時間停止の兆しがあったため確かにパロールシンドロームは彼女の中に存在している。
 身体検査。彼女の身体に負荷をかけ、どこまでレネガイドウィルスが活性化されるかの訓練で我々はかなり貴重なデータを入手することができた。普通のチル